

Press Release

報道関係者各位

2022年4月15日

株式会社マリエ

6月病が起こりやすい業界 離職率は1年目3割、3年目5割 1年かけた美容師デビューがカギ 独自の新入社員育成で定着率アップ 卒業式シーズン 女袴でヘアメイク・着付けができる美容師を目指して

美容をワンストップで叶えるトータルビューティープロデュースを展開する株式会社マリエ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：長谷川清美、長谷川秀二）は、美容業界の課題である人材教育において、2006年よりサロンワークから冠婚葬祭まで“一生涯活躍できる美容師”の創出を手掛け、新入社員の育成に注力しています。

◆就職1年で離職してしまう美容師は3割 美容師の6月病は課題

平成28年の「新規短大等卒就職者の産業別離職状況」（厚生労働省）によると、就職1年までに離職してしまう美容師は30%と高く、3年までに離職する美容師は50%で、3年間で半数が離職しています。

特に、ゴールデンウィークのない美容師は、一般の“5月病”が6月に起こりやすいと言われています。入社して2カ月ほど経ち、美容師が「思っていた待遇と違っている」「理想と現実のギャップについていけず頑張れなくなる」など目的を見失う傾向があり、これからの美容業界を担う若手人材の育成は大きな課題となっています。

人材育成が課題になる背景には、美容の分業化が要因のひとつとなっています。そもそも美容師は、カット、セット、メイク、着付け、ネイルなどこうした技術をすべて習得して「美容師」といわれていましたが、時代の変化とともに、現在ではヘアスタイリスト、ネイリスト、エステティシャンなどの分業化が主流となっています。現在、分業化も後押しし美容業の新規参入が増え、店舗過剰、低価格化につながっています。そのため美容施設によっては、美容師に必要な技術力、提案力、カウンセリング、コミュニケーション能力をしっかりと育む教育プログラムが整っていない現状があります。

◆新入社員は1年かけて美容師デビュー まずは卒業式シーズンの女袴のヘアメイク・着付けができる美容師

当社では、“生涯美容師の育成”を企業理念に掲げ、サロンワークとブライダルワークの二刀流のスキル習得につながる自社独自の人材育成をおこなっています。人材育成ではキャリアの積み重ねが重要と考え、特に1年目の人材育成で美容師としてのデビューに時間をかけておこなっています。入社1年目の美容師育成では8カ月程の職業訓練校での研修を中心に、月に数回の社内研修と組み合わせて必要な技術力、提案力、カウンセリング、コミュニケーション能力の育成に取り組んでいます。入社1年後の卒業式シーズンに女袴のヘアメイク・着付けでようやく美容師デビューとなります。デビューに向けて入社10カ月目ごろから女袴の美容技術と接客等のオーディションを受け、卒業式シーズンにおいて一人の美容師が一日5客程の女袴対応ができる状態をつくっていきます。1年目の美容師には女袴を通じて経験数を増やしスキル向上を図っていきます。

実際に当社での新入社員1年目の定着率は90%と高くなっています。2年目・3年目もサロンワークとブライダルワークの二刀流のスキル習得につながる独自プログラムを用意して人材育成をおこなっています。

1年目の人材育成

・職業訓練校にて研修（4月～11月まで、10時～5時まで受講）

・清美塾（1カ月に2回開催）

当社代表の長谷川清美による特別講座。美容師としての必要なスキルと考え方と伝えていく。特に、現役美容師の働き方の現状や課題、そして昔の美



容師では当たり前であったサロンワークと婚礼ワークの二刀流の働き方などを紹介します。サロンワーク・Yumi Katsura コレクションヘアメイク着付・ミスコンヘアメイク・コマーシャル撮影・冠婚葬祭「お宮参り、七五三、成人式、卒業式、結婚式」と何でも知っている、何でもできる本来の美容師の姿を自ら体現する長谷川清美より実体験エピソードを交えながら、若い世代に「一生懸命働ける美容師」の大切さを伝えていきます。

- ・ブライダルワーク、サロンワーク、着付けなど各現場の先輩社員より研修（月2回）
現役美容師が講師となり、必要な技術力、提案力、カウンセリング、コミュニケーションのノウハウを育成。

2年目の人材育成

- ヘアカラー理論実技 ●ヘアカット（初級） ●ヘアブロー
- ヘアセット（アップ）初級 ●紋付着付 ●列席メイク ●新郎ヘアメイク

3年目の人材育成

- 留袖着付 ●訪問着着付 ●振袖着付 ●ヘアセット（アップ）上級 ●ヘアカット（上級）
- 列席ヘアメイク ●洋装花嫁 ●実技パーマ理論・実技

2022年3月女袴着付デビューした新入社員の声

新海絢美（平成3年4月入社）

女袴の着付けで初めてお客様を担当させていただきました。

当日、不安と緊張で練習したことや先輩から教えて頂いたことを思い通りに発揮することはできませんでした。支度中、時間が過ぎていくにつれて、次の支度の時間が迫ってくるという焦りで頭が一杯一杯でしたが、とてもいい経験となりました。

お客様の支度だけではなく、当日に向けての打ち合わせ、着物の搬入から入らせて頂き、お客様の一人一人の個性やイメージを感じることができ、着付けの際に会話

にも繋げることができました。何よりお客様から、お客様のご家族の方々から「ありがとう」の言葉を言ってもらえたことが私の中で元気をもらうことができ、自分自身の自信にも繋がりました。改めて美容という職業でしか味わえない沢山の魅力が詰まっていることを実感することができ、これからも現状に満足せず、常に新しいことに挑戦し、与えられている環境に感謝して頑張っていきます。



【2007年入社の女性社員】

氏名：難波珠美（なんばたまみ）34歳

事業部：マリアージュ事業部

肩書：マネージャー

経歴：2007年3月 トライデント外国語・ホテル・ブライダル専門学校を卒業後、2007年4月に株式会社マリエに入社。その後、働きながら美容師免許取得を目指し中部美容専門学校の通信課程(3年制)で学び2010年9月卒業。

現在はマリアージュ事業部に所属し、サロンワークと婚礼ワークの二刀流の美容師マリアージュスタイリストとして活躍中。



お客様との長くお付き合いができることにやりがいを実感

新卒から入社し14年。サロンワークと婚礼ワークだけでなく“ヘアメイク・着付けを生かしたコレクション”まで、様々な現場で日々お客様に技術を提供させていただいています。活躍できる場が多くあるため、スピード感、緊張感をもって技術が向上し、カットやパーマなどのサロンワークで必要な技術と、着付けからヘアメイク、作法など婚礼ワークに必要な技術を30代半ばで全て習得できました。今ではサロンワーク以外に個人で年間30~50件の婚礼ワークをこなしています。

サロンワークと婚礼ワークの二刀流の美容師になってお客様との向き合い方も変わりました。婚礼を機に美容室に通ってくださる

お客様や、美容室の利用のお客様から婚礼のオーダーをいただいたり、さらにはそのお客様のお子様やご家族も利用していただいたりと…。二刀流だからこそ、ひとりのお客様に深く寄り添うことができ、そして長くお客様とお付き合いができるところに魅力があります。

また、婚礼ワークはお客様の人生の節目に 8 時間ご一緒することとなる大切な仕事。自分が前に出ず黒子としての立ち振る舞いが重要です。一方でサロンワークは、自分を気に入ってもらえるようにお客様に自分の名前を売っていくことが大切です。サロンワークと婚礼ワークは仕事のスタンスが異なる点もあり、二刀流の美容師であることを通じて、技術だけでなく人間力など美容師として本来必要なプロ意識がより高まりました。

他社で働く同年代の美容師からは将来についての不安の声を聞くことが多く、特に女性は結婚を機に退職、男性は独立をする傾向が強いです。他社の同年代の美容師とは異なり、私自身は 20 代から二刀流でおこなっていたため、将来の不安を抱えることなく活動しています。改めて一生働ける環境があることに大変ありがたいと思っています。

◆会社概要

社名： 株式会社マリエ
代表： 代表取締役 長谷川清美、長谷川秀二
創業： 1947 年 7 月 1 日
設立： 1982 年 10 月 1 日
本社所在地： 愛知県名古屋市千種区内山 3-31-25 マリエビル
本部事務所： 愛知県名古屋市中区金山 4-1-9 4F
電話： 052-253-8004
資本金： 2000 万円
従業員数： 60 名
事業内容： 美容室、ブライダルヘアメイク、着付け(和装全般)、エステ、ネイル、まつげエクステ、
海外挙式プロデュース、ブライダルプロデュース、ブライダルコーディネート、美容関連商品販売
URL： <https://marieplus.jp/>
オンラインショップ： <https://www.marie-webshop.com/>

<お客様お問い合わせ先>

<https://thebase.in/inquiry/marieshop-official-ec>
info@marieplus.jp
電話 052-253-8004

【報道関係者 お問い合わせ先】

マリエ 広報事務局

担当：杉村 (070-1389-0175) 佐久間 (090 8106 9283)

E-mail： pr@netamoto.co.jp TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788

参考資料

◆自社独自の教育体制づくりに着目した背景

当社代表の長谷川清美は、ヘアメイク・着付・婚礼・美容のすべての技術を習得し、長きに渡り国内外で幅広く活動してきました。そこで直面したのが「美容師の職業寿命が短い」「40代を過ぎてから活躍する場がない」「業界を離れる女性美容師が多い」といった、美容業界の大きな課題でした。

その業界課題を解決すべく「冠婚葬祭(特に婚礼業務)は女性美容師が活躍しやすい」という利点を活かし、「サロンワークから冠婚葬祭までトータルで美容を学べば、60歳を超えても活躍できる職業になる」と考え、「生涯美容師の育成」を企業理念に掲げ、2006年より自社独自の教育体制づくりに着手。

約10年かけて作り上げた“生涯美容の基盤”となる企業方針は、業界内外から高く評価を受け、2016年には経済産業省の「経営革新計画・サービス事業分野(2017年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金(事業計画名:美容室&ブライダル業の二毛作業態サービスの開発によるマリエスタイルの構築)」にも認定されました。現在、「美容二毛作」という事業展開をすすめ、美容室ワークと婚礼ワークの二刀流の仕事が出来る美容師の育成を実践しています。さらに、2020年には「女性が一生働き続ける環境と機会の創出・技術者への明確な評価基準とキャリアアップ制度・全ての人に快適な空間と優しいサービスの提供」という事業テーマにおいて一般社団法人日本ノム協会との認証基準を満たし、SDGs認証を受けました。



また、美容技術は講習を受けただけでは体得できません。何度も繰り返し手を動かすことで、ようやく自分のものになると言われています。当社は学んだ技術を実践に生かすべく、サロン顧客年間1万人以上、婚礼年間2,000件、成人式800件、卒業式1,200件の顧客を獲得し、美容師に数多くの就業の機会を提供しています。サロンワークに従事しながら婚礼ワークの充実をはじめ、レストラン・ゲストハウス・ホテル・神社と年齢別に働ける現場環境を整え、結婚・出産、子育てなど個々のライフプランにあう美容師人生が叶う働き方を提供しています。

【株式会社マリエ】

生涯美容師の育成に向けた教育事業

(人の一生に寄り添うために必要な知識と技術習得の機会を創出)

| 【社内】 | | | 【社外】 | | |
|---|--|---|---|--|--|
| サロン事業部、ブライダル事業部、マリアージュ事業部、社外講師事業などマリエの事業に携わるための教育機会 | | | マリエで培った美容知識や技術等を、業界関係者とナレッジ共有するための教育機会 | | |
| 【ヘアサロン】 ・公衆衛生 ・接客 ・シャンプー ・カット ・カラー ・パーマ ・縮毛矯正 ・ヘアアレンジ ・ヘアケア | 【セレモニー】 ・婚礼和装ヘアメイク ・婚礼洋装ヘアメイク ・婚礼和装着付 ・婚礼洋装着付 ・訪問着着付 ・振袖着付 ・浴衣着付 ・セレモニーヘアアレンジ ・セレモニーヘアセット ・成人式・卒業式前撮り ・七五三撮影 | 【クリエイティブ】 テレビ、CM、雑誌 桂由美YUMI KATSURA 海外コレクション 国内コレクション ミス・ジャパン 愛知大会・東京大会 ミス・ユニバース 愛知大会・東京大会 ミス日本酒 愛知大会・東京大会 などのヘアメイク | 【美容業界】 一般社団法人 Mariage Grande Academia 美容業界で生涯活躍できる人材の育成を通じ、婚礼および美容業界を発展させるために日々活動。技術習得はもちろん、美容師の立ち振る舞いから各現場の運営を支えるための手法まで、幅広く知識の財産を学ぶ場を提供 | 【婚礼業界】 一般社団法人 全日本ブライダル協会 ウエディングドレスの歴史やコーディネート、ブライダルファッションのトレンド、ボディメイク、フラワーコーディネート、最新のヘアメイクなど、花嫁たちのコンサルタントとして不可欠な知識や技術を学ぶ場を提供 | 【学校教育】 講師事業 〈株式会社マリエ〉 国内外の専門学校や大学、一般企業からのオファーを受け、ヘアメイクやヘアケアだけでなく、日常とセレモニーにおける正しい知識や作法などを学ぶ場を提供 |

サロン顧客年間1万人以上、婚礼年間2千件、成人式800件、卒業式1,200件の実績を支える教育体制を確立

〈環境づくり〉

ライフプランに合わせて長く働ける組織づくりを目指し、産休・育休支援制度、退職制度廃止、晴れの日支援特別休暇制度など、安心して働きながら自己成長できる環境を整備。

〈キャリアアップ〉

明確なキャリアアッププランも設け、ブライダル事業・サロン事業それぞれにジュニアアシスタント～アシスタント、スタイリスト～トップスタイリスト、その後講師やマネージャー/店長などキャリアアップへの道も。OJT キャリアアップ講座を取り入れるだけでなく実際にお客様へサービスを提供しその結果を踏まえて昇給と共にステージを上げるという、平等かつ明確な評価基準を導入。

〈教育〉

美容師は年齢とともに活躍できるステージが変化することから、当社が手掛けるサロンワーク、ブライダル、成人式、卒業式、エステ、ネイル、エクステ、ボディペイント、ヘアショー、ミスコンテスト、舞台メイク、広告ヘアメイク、フォトシューティングなど幅広いフィールドでの活動を活かして、様々な技術を学ぶ場を提供。「生涯美容に関わるお仕事ができる本物のスキル」を身につけ、仕事を続けられる環境を整備。また、美容専門学校をはじめ民間企業でマナー講師などを各事業部のマネージャー陣や「マリアージュスタイリスト®」が担当するなど講師業にも注力。

◆生涯美容を目指すもう一つの理由

当社が「生涯美容」に注力する理由は、「美容師の活躍の場の構築」だけでなく「日本の伝統文化の継承」への想いもあります。着物は日本の伝統文化であり、冠婚葬祭文化と深くつながっています。美容師が冠婚葬祭でのヘアメイクから着付けまでの専門技術や婚礼の歴史やマナーを受け継ぐことで次世代に日本の文化を継承し守ることができると考えています。実際に、Mariage Grande Academia を立ち上げ、婚礼にまつわるノウハウや技術を学ぶ場を社内外に提供しています。

現在、サロンワークから冠婚葬祭までできる美容師を「マリアージュスタイリスト®」と呼び 4 名が活躍しています。引き続き、当社は美容室で働きながらレストラン・ハウスウエディング・ホテル・神社など二刀流で一生涯、美容師としての仕事が続けられる環境と女性の社会進出を応援していきます。特に、美容室と冠婚葬祭(婚礼)が出来る美容師を育て職業のステータス化と日本の文化を大切にする美容師の創出に積極的に取り組んでまいります。

美容家・マリアージュスタイリスト 長谷川清美

株式会社マリエ 代表取締役

一般社団法人 Mariage Grande Academia 理事

一般社団法人全日本ブライダル協会 理事

〈長谷川清美プロフィール〉

株式会社マリエ 代表取締役

一般社団法人 Mariage Grande Academia

一般社団法人全日本ブライダル協会 理事

美容の技術を習得しながら和装、洋装、ブライダルヘアメイク、着付け全般の技能を取得。同時期に日本礼道古流作法小笠原流師範取得。著名な美容家を師と仰ぎ、美容技術を習得する。

その後、横浜の経営コンサルタントの会社に入社する。ビジネスマナー、接遇マナーのインストラクターとして全国規模でセミナーを開催。斬新なサロン経営手法が脚光を浴び、多くのメディアの取材を受ける。

また、フランス・パリのヴァンクリーフ、カルティエ、シャネルなどのジュエリーデザイナーとのコラボレーションにより、オリジナルアクセサリーの企画立案、営業、販売を手がける。その後、名古屋に拠点を移す。

桂由美先生の一般社団法人全日本ブライダル協会においてウェディングプランナーのライセンスを取得。

現在は、サロンも冠婚葬祭のどちらもプロフェッショナルな二刀流の美容師（マリアージュスタイリスト）の育成を行っている。

〈著書〉

結婚式から生まれるしあわせ ブライズルームは聖域（キャラナビ出版）

